

第 1 2 回「建築構造用鋼材と利用技術セミナー」開催案内

開催目的 一般社団法人日本鉄鋼連盟では健全なる鉄骨造建築の普及活動として、1995 年度から毎年「建築構造用鋼材とその利用技術」講習会を開催してまいりましたが、2014 年度より「建築構造用鋼材と利用技術セミナー」と名称を変え、再スタートいたしました。

第12回となる今回のセミナーでは、全国 7 都市にて、建築構造用鋼材の利用技術、新工法等に関する 5 つのテーマについて、実務的・実践的に解説いたします。

ぜひ多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 主 催** 一般社団法人 日本鉄鋼連盟
- 後 援**
(予 定) 国土交通省、国立研究開発法人建築研究所、一般財団法人日本建築センター、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本建築士会連合会、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本建築構造技術者協会、一般社団法人全国建設業協会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人鉄骨建設業協会、一般社団法人全国鐵構工業協会、一般社団法人日本鋼構造協会、一般社団法人日本溶接協会、一般社団法人日本鉄鋼協会
- [札幌会場]** 北海道、一般社団法人北海道建築士会、一般社団法人北海道建築士事務所協会、一般社団法人北海道建設業協会、一般社団法人北海道機械工業会鉄骨部会
- [仙台会場]** 宮城県、東北鉄構工業連合会、一般社団法人宮城県建築士会、一般社団法人宮城県建築士事務所協会、一般社団法人宮城県建設業協会、宮城県鐵構工業協同組合
- [東京会場]** 東京都、一般社団法人東京建築士会、一般社団法人東京都建築士事務所協会、一般社団法人東京建設業協会、東京鉄構工業協同組合
- [名古屋会場]** 愛知県、公益社団法人愛知建築士会、公益社団法人愛知県建築士事務所協会、一般社団法人愛知県建設業協会、愛知県鉄構工業協同組合
- [大阪会場]** 大阪府、公益社団法人大阪府建築士会、一般社団法人大阪府建築士事務所協会、一般社団法人大阪建設業協会、大阪府鉄構建設業協同組合
- [広島会場]** 広島県、公益社団法人広島県建築士会、一般社団法人広島県建築士事務所協会、一般社団法人広島県建設工業協会、協同組合広島県鉄構工業会
- [福岡会場]** 福岡県、公益社団法人福岡県建築士会、一般社団法人福岡県建築士事務所協会、一般社団法人福岡県建設業協会、工業組合福岡県鉄構工業会
- 日程・会場** 東 京 会 場：10 月 2 日(金) 富士ソフトアキバプラザ
大 阪 会 場：10 月 9 日(金) マイドームおおさか
福 岡 会 場：10 月 16 日(金) ヒューリックスクエア
札 幌 会 場：10 月 23 日(金) ACU SAPPORO
広 島 会 場：10 月 30 日(金) エールエールA館
仙 台 会 場：11 月 6 日(金) トラストシティ・カンファレンス・仙台
名古屋 会 場：11 月 13 日(金) ツドイコ名駅東

時間・演題・講師 (都合により時間・演題・講師が変更になる場合があります)

13:30～13:40	「開会挨拶」 (一社)日本鉄鋼連盟 建築委員会
13:40～14:30	「基調講演」 (一社)日本鉄鋼連盟 建築鋼構造研究ネットワーク幹事会
14:30～14:45	休憩
14:45～15:15	「日本の鉄鋼業におけるカーボンニュートラルの実現に向けた取り組み」 (一社)日本鉄鋼連盟 建築委員会
15:15～15:45	「鋼材品質証明書の電子化に向けた取り組み」 (一社)日本鉄鋼連盟 建築委員会
15:45～16:00	休憩
16:00～16:40	「建研・国総研による鉄骨造建築物に関する最近の研究」 国土交通省 国土技術政策総合研究所 国立研究開発法人 建築研究所

※詳細は別添プログラム案をご確認ください。

受講対象 官公庁、建築設計事務所、建設業、鉄骨加工業、大学・高専教員・学生、学術関連機関等

受講料 無料

申込方法 インターネットによるお申し込み

- ・ 下記日本鉄鋼連盟ホームページへアクセスし、「開催地・開催日・会場・申込」をクリック、以降は画面の案内に従ってお申し込み下さい。

ホーム > 各種ご案内 > 催し物のご案内 > 第12回「建築構造用鋼材と利用技術セミナー」

<https://www.jisf.or.jp/info/event/kenchiku/2026.html>

右側QRコードからもアクセスできます。



- ・ お申し込みいただいた各受講者のメールアドレス宛、電子メールにて、申込完了メールを送信しますので、ご確認下さい。

- ・ 当日会場にてお名前をご教示下さい。

申込締切 受講希望会場の開催日の2日前。

注意事項

- (1) 会場での受付の際は必ずお名前をご教示ください。
- (2) 会場収容人数の都合上、定員に達し次第、お申し込みを締切らせていただきます。
- (3) 本セミナーは、(一社)日本建築構造技術者協会の JSCA 建築構造士登録更新のための評価点対象となる予定です。
- (4) 本セミナーは、建築士会CPD制度の認定プログラムとなる予定です(3単位)。
- (5) 本セミナーにお申し込み頂いた方の個人情報は、受講者の受付管理と、別途、当連盟からの各種ご案内・アンケート実施以外の目的には使用いたしません。
- (6) 日本鉄鋼連盟では、株式会社トライに、本セミナーの運営業務を委託しております。個人情報の取扱については本セミナーの運営以外の目的には使用しない旨、同社と覚書を交わしております。
- (7) 会場により駐車スペースの制限もあるため、ご来場には公共の交通機関のご利用をお奨めしております。
- (8) 紙冊子での資料配布は行いません。申し込み完了後、セミナー専用サイトをご案内いたしますので、そちらよりダウンロードの上ご来場ください。

セミナーお問合せ先： 一般社団法人日本鉄鋼連盟 業務部 市場開発グループ 担当：杉戸・坂本
E-Mail: sijo-kaiatsu@jisf.or.jp

講演要旨

基調講演 (50分)	日本鉄鋼連盟では、鉄骨造の健全なる発展と普及に資することを目的に、建築鋼構造を研究する大学・研究機関等の研究者で構成する建築鋼構造研究ネットワーク（幹事長：山田 哲 東京大学 教授）を組織し、研究活動等を行っております。開催地区毎に、同ネットワーク活動に参画されている方々による基調講演を行います。
日本の鉄鋼業における カーボンニュートラルの 実現に向けた取り組み (30分)	現在、建築物のライフサイクルカーボン（LCC02）評価の制度化に向けた検討が行われており、また、日本鉄鋼連盟は我が国の2050年カーボンニュートラルという大きな方針の下、その実現に向け着実に取り組みを進めている。また、その取り組みの過程においても低炭素鋼材を市場へ供給すべくマスバランス方式を適用したグリーンスチールに関するガイドラインを整備し、会員各社は既にグリーンスチールの供給を開始している。本講演ではこれらの取り組みの内容と現在の状況を紹介するとともに、鉄のリサイクル効果を反映した鉄鋼製品のLCI手法の考え方を解説する。
鋼材品質証明書の 電子化に向けた取り組み (30分)	建築工事における使用鋼材の品質証明は、鋼材メーカーが発行した「紙のミルシート」を原本とし、流通・加工の各工程において各々の責任者がその裏面に署名・押印する「裏書き」と呼ばれる業界慣行によって品質情報の連続性を担保するという方法が長年運用されてきたが、近年の労働人口の減少にともない建設業界においても省力化・業務効率化の要請が一層強まる中で、鋼材品質証明書の電子化が広く求められている。本講演では、建築研究開発コンソーシアムの「鋼材品質管理電子化研究会」の研究成果としてまとめられた「鋼材品質証明書電子化ガイドライン（研究会案）」について解説する。
建研・国総研による 鉄骨造建築物に関する 最近の研究 (40分)	本講演では、建築研究所および国土技術政策総合研究所で昨年度までに実施した鉄骨造建築物に関する以下の3つの調査、研究等の概要を紹介します。 (1) 一面せん断接合された軸力材の補強方法に関する実験的研究 (2) 引張ブレース骨組の耐震レジリエンス性能に関する研究 (3) 軽量鉄骨下地間仕切壁の力学性能に関する研究

各地区基調講演

札幌会場(10/23) 北海道大学 松井准教授 (50 分)	テーマ名:繰返し荷重を受ける鋼材ブレースの耐力と塑性変形能力 ブレース付鋼架構は、少ない鋼材量で高い耐震性能を確保できる経済的な構造型式だが、鋼材ブレースの座屈や繰返し載荷時の複雑な挙動を適切に評価することが容易でないため、その適用は主として工場や倉庫などに限定されてきた。本講演では、架構内に配置された鋼材ブレースの構造模型を対象として網羅的に実施した載荷実験および有限要素解析による検証事例を紹介する。また、これらの成果にもとづき、鋼材ブレースの耐力や塑性変形性能の評価手法について解説するとともに、ブレース付鋼架構の合理的な設計と性能評価に向けた最新の知見を紹介する。
仙台会場(11/6) 東北大学 木村教授 (50 分)	テーマ名:地震外力を受ける日欧接合形式を用いた合成梁の局部座屈・横座屈崩壊メカニズム 現在、我が国における建築鋼構造における合成梁(コンクリート床スラブと鉄骨梁)の接合には、柔らかい接合部材であるスタットが適用されており、完全合成梁となるための条件、および床スラブによる鉄骨梁の横座屈に関する補剛効果が明示されている。一方で、欧州では、パズル型など高剛性の接合部材が適用されており、スタッドに比べると、より高い一体性を示すものの、高い応力伝達によりコンクリートスラブ側の崩壊が早まる可能性がある。本講演では、日欧接合形式を用いた合成梁の局部座屈・横座屈の崩壊メカニズムを明らかにする。
東京会場(10/2) 東京科学大学 吉敷教授 (50 分)	テーマ名:軽量鉄骨乾式間仕切り壁の保有性能に関する研究 地震後も建築物における社会活動を継続させる、いわゆる継続使用性を議論する上では、構造骨組のみならず、壁や天井などの非構造部材、および建築設備機器の健全性確保が重要となる。本講演では、軽量鉄骨乾式間仕切り壁の地震時被害を紹介すると共に、これまで実施してきた研究の成果を概説する。
名古屋会場(11/13) 名古屋工業大学 佐藤教授 (50 分)	テーマ名:ボルトを用いた接合部設計 普通ボルト(以下、「ボルト」という。)を建築構造の接合要素として利用する場合、従来の建築基準法では、適用できる建築物の高さは13m以下(3階建て以下)に限定されていた。2025年の基準改定により、高さ16m以下(3階建て以下)の建築物まで適用可能となり、適用範囲は拡大された。ただし、高さ13mを超える建築物については、層間変形角の制限を満たすことが求められる。軽鋼構造設計指針では、ボルト接合部について支圧によって決まる最大耐力などの評価方法が規定されている。特に、被接合材の板厚が6mm未満の場合の耐力評価については、詳細な規定が設けられている。本講演では、これらの内容について概説する。
大阪会場(10/9) 大阪大学 桑原教授 (50 分)	テーマ名:スロット孔を使用した高力ボルト摩擦接合部のすべり係数に諸変数が与える影響 製作・施工誤差の調整のために、拡大孔やスロット孔を使用した高力ボルト摩擦接合部に対する潜在的なニーズは高まっている。しかしながら、これらの高力ボルト孔を使用するためには大臣認定を取得する必要がある、広く普及していないのが現状である。今回は将来の利用拡大に向けたスロット孔に関する高力ボルト摩擦接合部のすべり係数に着目した実験・解析について紹介する。
広島会場(10/30) 広島大学 田川教授 (50 分)	テーマ名:鋼構造柱梁接合部に関する研究紹介 建築構造物において柱梁接合部は構造性能を大きく左右する重要な部位であり、国内外を問わず様々な研究が行われている。本講演では、(1)柱と梁が交差していない架構の柱梁接合形式、(2)高力ワンスайдボルトを用いた角形鋼管柱-H形梁の接合法、(3)座屈拘束丸鋼ダンパーを有する柱梁接合部に関する研究を取り上げて、鋼構造骨組における3つの特徴的な柱梁接合部の研究プロセスを紹介する。
福岡会場(10/16) 福岡大学 堺教授 (50 分)	テーマ名:鉄骨鉄筋コンクリート部材の構造性能評価法 昨年度、鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)部材の構造性能評価法として、曲げ系の柱材の安定限界軸力を中心として報告し、さらに復元力特性の骨格曲線の概要について報告した。今年度は、梁材にも対象を広げ構造性能評価法を検討しているので、それを含めてSRC部材の構造性能評価法について報告する。SRC基準では、許容曲げモーメントおよび終局曲げ強度を累加強度式で評価することになっているが、特に許容曲げモーメントを累加強度で評価することによる損傷制御設計の観点から見た課題などについて検討したいと思う。

第12回「建築構造用鋼材と利用技術セミナー」 プログラム

		開催地区	東京	大阪	福岡	札幌	広島	仙台	名古屋
		開催日	2026年10月2日(金)	2026年10月9日(金)	2026年10月16日(金)	2026年10月23日(金)	2026年10月30日(金)	2026年11月6日(金)	2026年11月13日(金)
		会場	富士ソフトアキバプラザ アキバホール 千代田区神田練堀町3 TEL：050-3000-2741	マイドームおおさか 第1＋2会議室 大阪市中央区 本町橋2-5 TEL：(06)6497-4321	ヒューリックスクエア HS502 福岡市中央区天神2丁目8-49 TEL：(092)401-8080	ACU SAPPORO 中研修室1613 札幌市中央区北4条 西5丁目アスティ45 TEL：(011)272-3838	エールエールA館 ROOM2 広島市南区松原9-1 TEL：(082)222-2277	トラストティ カンファレンス・仙台 ROOM2＋3 仙台市青葉区 一番町1-9-1 TEL：(022)224-3801	ツドイコ名駅東 ROOM G＋H 名古屋市中村区 名駅3-21-7 名古屋三交ビル TEL：(052)731-7670
		定員	180名	80名	70名	60名	60名	60名	60名
時間割・プログラム	13:30～13:40	開会挨拶	建築委員会 委員長 北岡 聡	建築委員会 副委員長 村上 行夫	建築委員会 幹事 木下 智裕	建築委員会 幹事 鈴木 悠介	建築委員会 幹事 木下 智裕	建築委員会 幹事 高田 武之	建築委員会 幹事 高田 武之
	13:40～14:30	基調講演	東京科学大学 総合研究院 教授 吉 敷 祥 一	大阪大学 大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 教授 桑 原 進	福岡大学 工学部 建築学科 教授 堺 純 一	北海道大学 大学院 工学研究院 建築都市空間デザイン部門 准教授 松 井 良 太	広島大学 大学院 先進理工系科学研究科 教授 田 川 浩	東北大学 大学院 工学研究科 都市・建築学専攻 教授 木 村 祥 裕	名古屋工業大学 大学院 工学系研究科 教授 佐 藤 篤 司
	14:30～14:45	休憩							
	14:45～15:15	日本の鉄鋼業における カーボンニュートラルの 実現に向けた取り組み	建築委員会 委員長 (日本製鉄㈱) 建材開発技術部 部長 北 岡 聡	建築委員会 幹事 (日本製鉄㈱) 建材開発技術部 建築建材技術室長 鈴木 悠 介	建築委員会 幹事 (JFEスチール㈱) 建材技術部 建築技術室 主査 木 下 智 裕	建築委員会 幹事 (日本製鉄㈱) 建材開発技術部 建築建材技術室長 鈴木 悠 介	建築委員会 幹事 (JFEスチール㈱) 建材技術部 建築技術室 主査 木 下 智 裕	建築委員会 幹事 (㈱神戸製鋼所) 事業開発部 建材企画グループ 担当部長 高 田 武 之	建築委員会 幹事 (㈱神戸製鋼所) 事業開発部 建材企画グループ 担当部長 高 田 武 之
	15:15～15:45	鋼材品質証明書の 電子化に向けた取り組み	日本製鉄㈱ 厚板・建材事業部 厚板・建材企画室 建材企画課 上席主幹 早 川 弘 治	建築委員会 副委員長 (JFEスチール㈱) 建材技術部 建築技術室 主査 村 上 行 夫	日本製鉄㈱ 厚板・建材事業部 厚板・建材企画室 建材企画課 上席主幹 早 川 弘 治	建築委員会 副委員長 (JFEスチール㈱) 建材技術部 建築技術室 主査 村 上 行 夫	日本製鉄㈱ 厚板・建材事業部 厚板・建材企画室 建材企画課 上席主幹 早 川 弘 治	建築委員会 副委員長 (JFEスチール㈱) 建材技術部 建築技術室 主査 村 上 行 夫	日本製鉄㈱ 厚板・建材事業部 厚板・建材企画室 建材企画課 上席主幹 早 川 弘 治
	15:45～16:00	休憩							
	16:00～16:40	建研・国総研による 鉄骨造建築物に関する 最近の研究	国立研究開発法人 建築研究所 建築生産研究グループ 主任研究員 沖 佑 典	国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究部 構造基準研究室 主任研究官 三 木 徳 人	国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究部 構造基準研究室 主任研究官 三 木 徳 人	国立研究開発法人 建築研究所 構造研究グループ 研究員 黒 澤 未 来	国立研究開発法人 建築研究所 建築生産研究グループ 主任研究員 沖 佑 典	国立研究開発法人 建築研究所 構造研究グループ 主任研究員 安 永 隼 平	国立研究開発法人 建築研究所 構造研究グループ 主任研究員 安 永 隼 平

＊：講師・講演内容は変更になる場合があります。